

Pioneer

チューナーデッキアンプ

KEH-101

取扱説明書

carrozeria

目次 4ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

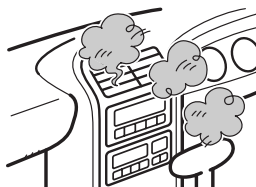
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常がございましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

はじめに

- 1 各部のなまえ 6

ここだけで

ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 テープのふだんの操作 8
 - テープをセットする
 - 再生する面を選ぶ
 - 音量を調節する
 - 電源をOFFにする
- 2 ラジオのふだんの操作 10
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
 - 音量を調節する
 - 電源をOFFにする

テープ

テープを聞く

- 1 早送り/巻き戻しをする 12
- 2 早送り/巻き戻し中にラジオを聞く 13

ラジオ

ラジオを聞く

- 1 放送局を1局ずつ記憶させる 14
- 2 複数の放送局を自動的に記憶させる 15
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 15
- 4 自動選局できない放送局を聞く 16
- 5 受信状態の悪い放送局をとばして自動選局するために 17

音の調節

音を調節する

- 1 小音量時の音にメリハリをつける 18
- 2 オーディオ調節モードの切り替えかた 18
- 3 前後左右の音量バランスを調節する 19
- 4 低音や高音を調節する 19

C O N T E N T S

ここだけ読めば
すぐ使えます

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

その他

その他の機能と付録

1	時計を表示させる	20
2	時計を合わせる	20
3	故障かな？と思ったら	22
4	テープの正しい使いかた	24
5	保証書とアフターサービス	25
6	おもな仕様	26

はじめに

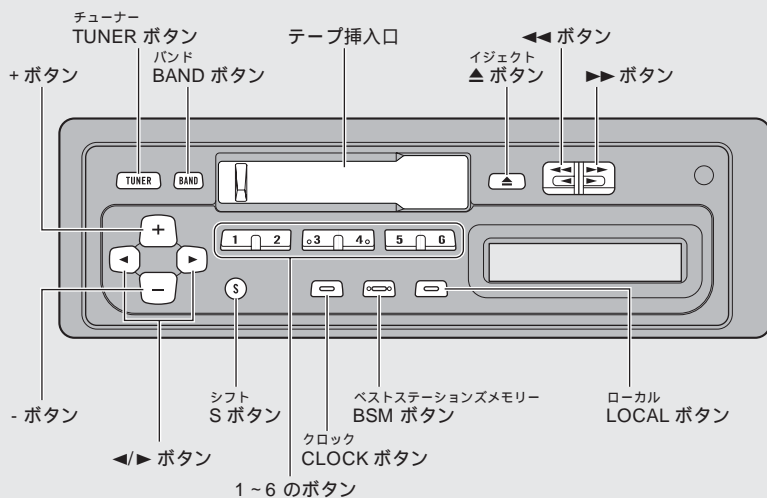
テープを聞く

ラジオを聞く

音を調節する

その他の機能と付録

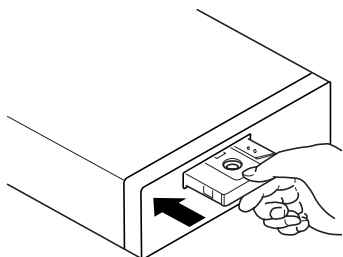
本機 KEH-101



ここだけの操作で、テープを聞くことができます。

1 テープを セットする

テープ面を右側にして、挿入口に差し込む



テープの再生が自動的に始まります。



ラジオを聞いているときにテープをセットしても、テープを聞くことができます。

2 再生する面を 選ぶ

◀◀ ボタンと ▶▶ ボタンを同時に押す
ボタンを押すごとに、再生する面が切り換わります。



(上にした面を再生)

(下にした面を再生)

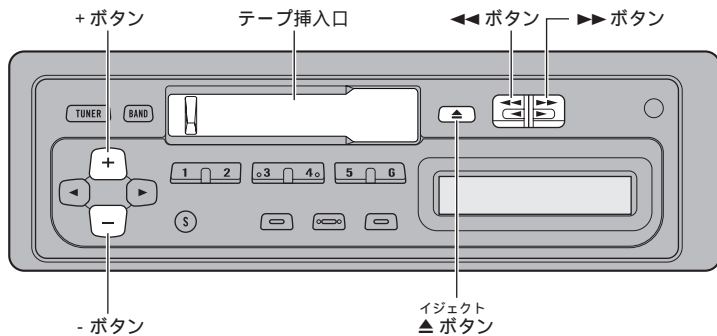
再生する面を選ぶ

音量を調節する

電源をOFFにする

ディレクションチェンジ / 音量調節 / 電源OFF

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



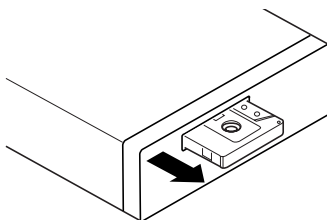
0 ~ 31 の範囲で調節できます。

約 4 秒間、音量が表示されます。

4 テープを取り出してテープ再生をやめる

▲ ボタンを押す

テープが出てきます。



電源がOFFになります。

テープをセットする前にラジオを聞いていたときは、ラジオに切り換わります。

出てきたテープはすぐに取り出して、保管してください。

車のイグニッションキーをOFFにするときは、必ずテープを取り出してください。テープを入れたままにしておくと、本機内部の部品が変形して、回転ムラ等の原因になります。

ここだけで **2** ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ

放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを
ラジオにする

TUNER ボタンを押す

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信
すると表示されます。

本機にテープがセットされているときは、ラジオに切り換わりません。テープを取り出してから操作してください。

本機の青 / 白リード線に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、本機の電源をONにすると車に装備されているオートアンテナが伸びます。アンテナを下げたい場合は、本機の電源をOFFにしてください。

2 バンドを
選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

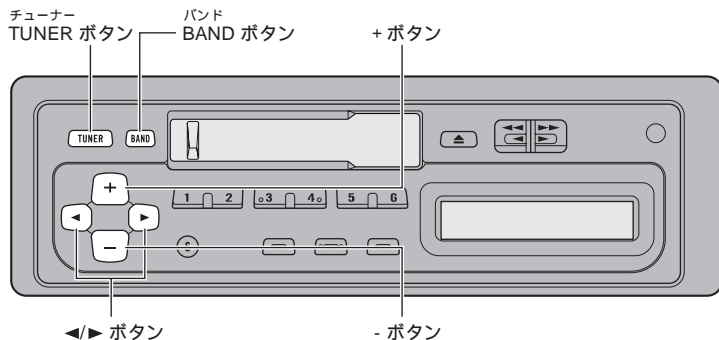


FM (FM1) FM (FM2)
AM (AM2) AM (AM1)

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(※ ラジオ①② 14、15ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき

受信状態の良い放送局を見つけると、自動的に受信を始めます。



受信周波数

自動選局できない放送局を選局したいときは、手動選局 (ラジオ 16 ページ) に切り換えてください。

4 音量を調節する

+または- ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



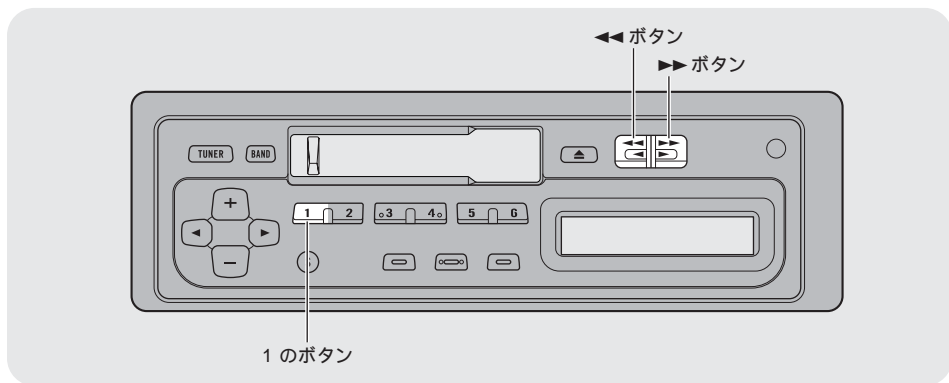
0 ~ 31 の範囲で調節できます。

約 4 秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの受信をやめる

TUNER ボタンを押す

電源がOFFになります。



テープ 1 早送り/巻き戻しをする

早送り / 巻き戻し

早送り/巻き戻しをして、曲の聞きたいところから再生を始めることができます。

テープを進めるとき

1 早送りをする

再生面が “ - - - ▶ ” のときは、▶▶ ボタン、再生面が “ ◀ - - - ” のときは、◀◀ ボタンを押す



テープを戻すとき

1 巻き戻しをする

再生面が “ - - - ▶ ” のときは、◀◀ ボタン、再生面が “ ◀ - - - ” のときは、▶▶ ボタンを押す



メモ

早送り/巻き戻しは、▶▶ ボタンで始めたときは◀◀ ボタンで、◀◀ ボタンで始めたときは▶▶ ボタンで解除することができます。

早送り/巻き戻し中
にラジオを聞く

ラジオインターセプト

早送り/巻き戻し中にラジオを聞くことができます。

1 ラジオインターセプトを
ONにする

1のボタンを押す

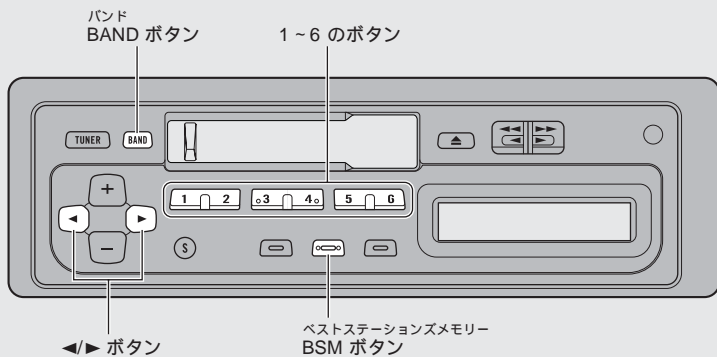
ボタンを押すごとに、ON/OFFします。



ラジオインターセプトがONのときに表示されます。

メモ

ラジオインターセプト動作中は、ラジオの表示になります。



ラジオ 1 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ここだけで② 10 ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(ここだけで② 11 ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ③)

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

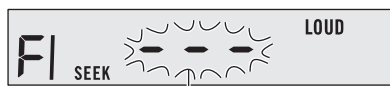
1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで② 10 ページ)

2 BSM を始める

BSM ボタンを2秒以上押す



記憶動作中に点滅します。

記憶が終わると、点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。



受信中の記憶番号

メモ

記憶動作中にBSMボタンを押すと、記憶動作は途中で解除されます。

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ③)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

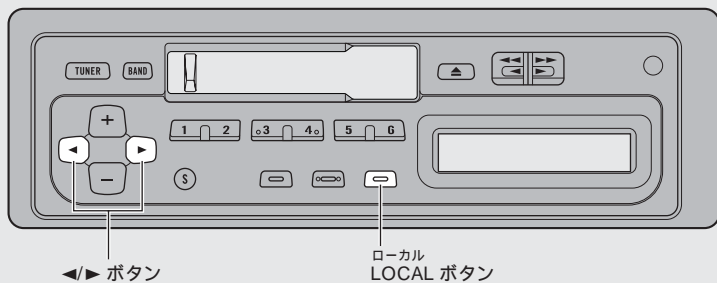
(☞ ここだけで② 10 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

1～6のボタンの1つを押す



受信中の記憶番号

ラジオ
4

自動選局できない放送局を聞く

手動選局

電波が弱くて、自動選局できない放送局を受信することができます。

1 手動選局に切り換える

◀と▶ ボタンを同時に押す

ボタンを押すごとに、自動選局と手動選局が切り換わります。



手動選局のときは、“SEEK”が消灯します。

2 放送局の周波数に合わせる

◀または▶ ボタンを押す

▶：高い周波数の放送局を選局するとき
◀：低い周波数の放送局を選局するとき



メモ

手動選局に切り換わっているときは、自動選局することができません。ふだんは自動選局に切り換えておくことをおすすめします。

受信状態の悪い放送局をとばして 自動選局するために

LOCAL

夜間のAM放送を受信するときなどに、通常の自動選局よりも受信状態の良い放送局だけを受信するのに便利です。

ローカルをON/OFFするとき

1 ローカルをONにする

LOCAL ボタンを押す
ボタンを押すごとに、ON/OFFします。



ローカルがONのときに表示されます。

ローカルのレベルを調節するとき

1 ローカルレベル調節モードにする

LOCAL ボタンを2秒以上押す
LOCAL ボタンをもう一度押すと、ローカルレベル調節モードは解除されます。



2 ローカルのレベルを調節する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : レベルを上げるとき

◀ : レベルを下げるとき

FM : L-1 ~ L-4

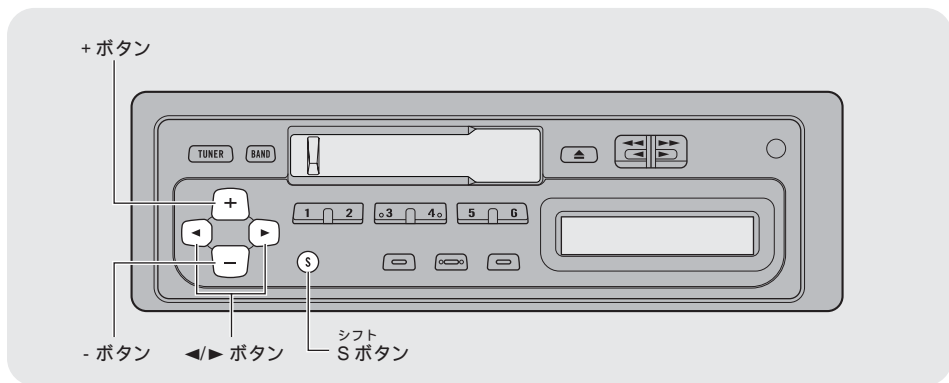
AM : L-1 ~ L-2



レベル

メモ

約5秒間何も操作をしないと、ローカルレベル調節モードは自動的に解除されます。

音の調節
1

小音量時の音にメリハリをつける

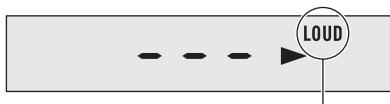
ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスをONにする

S ボタンを2秒以上押す

ボタンを2秒以上押すごとに、ON/OFFします。



ラウドネスがONのときに表示されます。

音の調節
2

オーディオ調節モードの切り換えかた

音の調節をするときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードを切り換える

S ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード
(音の調節③)

低音 / 高音調節モード (音の調節④)

音量調節モード (ここだけで① 9ページ)

(ここだけで② 11ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

約8秒間何も操作をしないと、オーディオ調節モードは自動的に解除されます。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節モードにする

S ボタンを押して選ぶ

( 音の調節②)



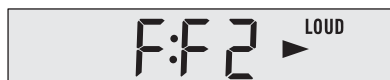
2 音量バランスを調節する

前後を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 前を強めるとき

- : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF9 ~ R9の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL9 ~ R9の範囲で調節できます。

メモ

2スピーカーシステムをお使いの方は、前後の音量バランスを“F: 0”に設定してください。

低音や高音を調節する

バス / トレブル

低音や高音をを強めたり、弱めたりすることができます。

1 低音 / 高音調節モードにする

S ボタンを押して選ぶ

( 音の調節②)



2 低音調節モードと高音調節モードを切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高音調節モードにするとき

◀ : 低音調節モードにするとき

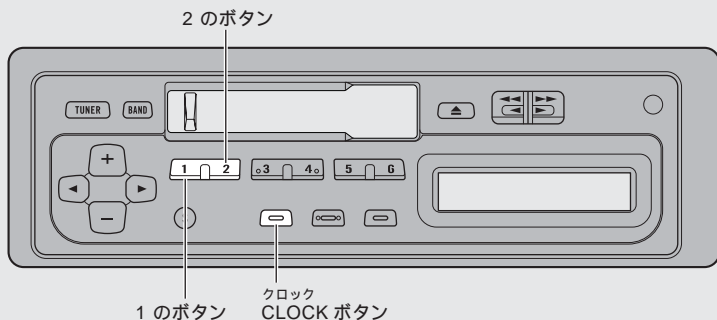


3 調節する

+ または - ボタンを押す



- 6 ~ + 6の範囲で調節できます。



その他
1

時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのときは、時計を表示させることができます。

1

時計を表示させる

CLOCK ボタンを押す
ボタンを押すごとに、ON/OFF します。



メモ

時計表示のときに他のボタン操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒間で時計表示に戻ります。

その他
2

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1

「時」を合わせる

CLOCK ボタンを押しながら、1のボタンを押す



1のボタンを押すごとに1時間ずつ進みます。

2

「分」を合わせる

CLOCK ボタンを押しながら、2のボタンを押す



2のボタンを押すごとに1分ずつ進みます。

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



チェックしても直らないときは

保証書とアフターサービス (☞ その他④ 25 ページ) をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、同じ容量のヒューズと交換してください。 (☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで① 9 ページ) (☞ ここだけで② 11 ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 19 ページ)
前または後のスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 19 ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 19 ページ)

テープ

症 状	原 因	処 置
テープ再生の途中で、再生面が自動的に切り換わる。	テープがからみついている。	テープを交換してください。
テープ再生の音質が悪い。	テープの巻きかたが乱れている。	早送りや巻き戻しをして、テープを均一に巻き直してください。 (☞ テープ① 12 ページ)
	テープの録音状態が良くない。	ほかのテープと交換してください。良くなればテープの不良です。
	テープヘッドが汚れている。	テープヘッドの汚れを清掃してください。 (☞ その他④ 24 ページ)

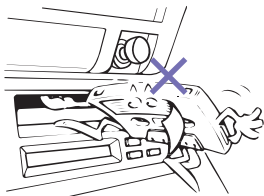
ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで② 11 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで② 11 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ラジオ④ 16 ページ)

テープの正しい使いかた

ご使用になるテープについて

ラベルがはがれかけたテープは使用しないでください。ラベルが引っかかり、テープが取り出せなくなります。このようなテープは、ラベルをはがしてからお使いください。

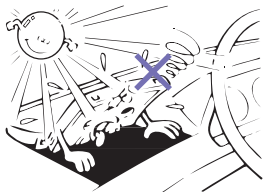


C-90 (90分用)までのテープをお使いください。

C-120 (120分用)のテープは使用しないでください。テープが非常に薄いため、テープが回転部分に巻き付いたり、切れたりすることがあります。

保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、テープを保管しないでください。テープが変形してしまいます。



スピーカーの近くや磁石の近くなど、磁気のあるところにテープを保管しないでください。

テープを聞かないときは、テープがゆるまないようにカセットケースに入れて保管してください。

ヘッドのお手入れについて

テープのヘッドは、月に1~2回程度クリーニングしてください。ヘッドの汚れがひどくなると、音が悪くなったり、音とびを起こしたりします。定期的にクリーニングするように心がけてください。

ヘッドのクリーニングには、クリーニングカセット「ST-650」(別売)をおすすめします。テープ再生と同じようにセットするだけで、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなど、テープデッキの内部の汚れを一度に清掃してくれます。カーステレオ販売店で買い求めください。



市販のクリーニングテープをお使いになるときは、説明書や注意書きを十分お読みください。また、一度の清掃につき片面1回だけ走行させてください。何度もテープ走行させると、ヘッドの磨耗を早めますのでご注意ください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センター、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

テープデッキ部

使用テープ

パック：コンパクトカセット
(C-30 ~ C-90)

テープ速度：4.8 cm/sec.

早送り/

巻き戻し時間：約90秒 (C-60)

回転ムラ：0.13% (WRMS)

再生周波数特性：40 ~ 14,000 Hz (±3 dB)

ステレオ

セパレーション：45 dB

S/N：52 dB (IHF-A ネットワーク)

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度：11 dBf (1.0 μV/75、
モノラル、S/N：30 dB)

S/N 50 dB

感度：16 dBf
(1.7 μV/75、モノラル)

S/N：70 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：0.3%
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)

周波数特性：30 ~ 15,000 Hz (±3 dB)

ステレオ

セパレーション：40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域：522 ~ 1,629 kHz

実用感度：18 μV (S/N：20 dB)

実効選択度：50 dB (±9 kHz)

アンプ・共通部

最大消費電流：8.5 A

最大出力：40 W × 4 (EIAJ)

定格出力：17 W × 4 (50 ~ 15,000 Hz, 5% THD)

トーン

コントロール：バース：±12 dB (100 Hz)
トレブル：±12 dB (10 kHz)

ラウドネス

コンター：10 dB (100 Hz), 7 dB (10 kHz)
(ボリューム：-30 dB)

負荷

インピーダンス：4 (4 ~ 8 使用可能)

使用電源：DC 14.4 V

(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：マイナスアース方式

外形寸法

(取付寸法)：178 (W) × 50 (H) × 155 (D) mm

(ノーズ寸法)：170 (W) × 48 (H) × 15 (D) mm

質量：1.2 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット：1

取付ネジ類：1式

取扱説明書：1

取付説明書：1

安全上のご注意：1

保証書：1

ご相談窓口・

修理窓口のご案内：1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

 0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 1999

< 99H00F0P01 > < CRA2878-A/JS >